



# 謹賀新年

## 本年もどうぞよろしく願いいたします

雪の少ない、穏やかな正月となりました。「温暖化が進んでいるのではないか」と不安になるところもありますが、とても幸せな気分で行年を迎えることができました。保護者、地域の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと拝察いたします。

おかげさまで、大きな事件・事故や感染者等の報告もなく、本日、第3学期の始業式を迎えることができました。新型コロナウイルス感染症の状況は、未だ予断を許さない状況であるとともに、今年も季節性インフルエンザが流行しているとも報道されていますが、子どもたちは元気いっぱい、満を持して登校し学校生活を始めています。万全の感染防止対策を講じつつ、今後も教育活動を止めることなく教職員一丸となって取り組んでまいります。

最後に、今年1年が皆様にとって、健やかで、至福の年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

今年も、一層のご指導、ご支援をよろしく願いいたします。



ある海外の研究では、2007年に日本で生まれた子どもの半数が107歳より長く生きると推計されており、また、現在の小学生は今ある職業の内の65%とは違う未知の職業に就くことが予想されています。その未知の職業を開拓するために、脳外科医教授は「初期の失敗が、後々の成績上昇につながる。決まった失敗でなく、違った失敗をすることが大切で、じっくりと考えた失敗をしよう。答えを推測することに意味があるのだから、間違っていくべきだ、と述べています。



いま、ビジネス、採用の現場では、「問題解決力」が注目され、求められている、とのこと。起こっている問題点を正しく理解し、解決策を立てて実行する。そして、その結果を検証し、計画の見直しや次の計画への反映を行う能力です。

学校でも同じです。失敗を恐れず、粘り強く、考え実行できる力の育成に励んでいきたいと思ひます。

